

平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT27199 算数問題を解く場面の視線を実際に調べて算数好きになろう！



開催日：平成27年7月26日(日)

実施機関：京都教育大学

(実施場所) (1号館 A 棟1A407教室)

実施代表者：黒田 恭史

(所属・職名) (教育学部・教授)

受講生：小学校5・6年生 11名

関連URL:

【実施内容】

小学生を対象に、視線移動計測装置を用いて、算数の問題を解く場面の各自の視線移動計測データをもとに、思考過程を分析し、視線移動と学習の関係についての理解を深めることを目的とする。

実際に、視線移動計測装置を全員が装着して、算数問題を解く。続いて、視線が示された映像をみながら、自分の視線の特徴を分析する。

こうした活動を通して、ヒトの視線や学習のメカニズムに興味を持ち、科学についての関心と理解を深め、将来の専門的な学習・研究への意欲につなげていく。

【当日のスケジュール】

09:30～ 【受付】

藤森キャンパス 1号館 A 棟 407 教室前

10:00～ 【開講式】

開会あいさつ、科研費と本事業の関係、当日スケジュール説明

10:10～ 【実験および分析】

視線移動計測実験 (1名ずつ 406 室にて実施)

随時、データを加工してコンピュータで視聴・分析

12:40～ 【昼食・休息】

13:40～ 【講義】

視線移動計測実験からわかること (講師：黒田恭史)

14:00～ 【発表会】

視線移動計測データを分析・発表原稿作成

14:30～ 【発表会】

視線移動計測データの分析結果を発表・交流

15:00～ 【修了式】

未来博士号授与、アンケート記入

15:15～ 解散

【実施の様子】

案内



正門前案内看板

開講式



実験についての説明

実験・分析・発表会



課題遂行場面



視線移動データ計測



実験データ分析場面



データの分析結果を発表

修了式



修了証授与



修了後の記念撮影

【事務局との協力体制】

実施代表者と研究協力・附属学校支援課研究協力・センター機構支援グループとでミーティングを複数回行い、小学校に対する広報活動や立て看板の設置、予算の執行等について相談しながら準備を重ねた。また、委託費の管理や支出報告書の確認は会計課財務グループが行った。

【広報活動】

本学正門前に立て看板を設置し、事業の広報を行なった。

また、本学附属小学校へチラシを送付した。

【安全配慮】

実施代表者のゼミ生・院生を中心に、教育学部生が補助を行った。これにより、児童の安全面や精神面でのサポート体制を整えた。

【今後の発展性、課題】

定員を上回る応募があり、充実した取り組みを行うことができたと考えている。今後は、中・高等学校生を対象とした実験課題の開発などに取り組み、対象を広げていきたい。

【実施分担者】 なし

【実施協力者】 6 名

【事務担当者】 研究協力・附属学校支援課研究協力・センター機構支援グループスタッフ 玉木 晶子